

# 高二 古文

## 第五回 小テスト

出題範囲

古文単語

330

61 から 75

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、  
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

# 単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

1 我は一門に具して西国の方へ落ちゆくなり。(平家物語)

- ①先だつ      ②協力し      ③抵抗し      ④つき従つ

2 大傘一つまうけよ。(落窪物語)

- ①修理しろ      ②準備しろ      ③工夫しろ      ④処分しろ

3 宮の御前、母北の方、帥殿、一つに手を取りかはして惑はせたまふ。(栄花物語)

- ①あきらめ      ②思い悩み      ③途方に暮れ      ④とまどい

4 維盛が後生をもとぶらへかし。(平家物語)

- ①供養してくれ      ②忘れないでくれ      ③手を合わせてくれ      ④殺してくれ

5 まづ御文をものせさせ給へ。(蜻蛉日記)

- ①書き      ②忘れ      ③許し      ④隠し

5  
〔  
〕

4  
〔  
〕

3  
〔  
〕

2  
〔  
〕

1  
〔  
〕

6 翁を、いとほし、かなしと思しつることも失せぬ。(竹取物語)

- ①消え
- ②忘れ
- ③やめ
- ④隠れ

7 神楽こそ、なまめかしく、おもしろけれ。(徒然草)

- ①興趣がある
- ②遊び心がある
- ③すぐれている
- ④大切だ

8 何といふにか、唇はたらく。(宇治拾遺物語)

- ①痛む
- ②表す
- ③動く
- ④見える

9 漕ぎ上るに、川の水干て、悩みわづらふ。(土佐日記)

- ①あきらめる
- ②慌てる
- ③苦勞する
- ④立ち止まる

10 おぼつかなく思しわたることの筋を聞こゆれば、いと奥ゆかしけれど、げに人目もしげし。

(源氏物語)

- ①大いに
- ②少し
- ③ずっと
- ④いつか

10  
〽  
〽

9  
〽  
〽

8  
〽  
〽

7  
〽  
〽

6  
〽  
〽

